

KRC WEB REPORT

KRC ウェブレポート

2006年10月25日号 No.043

今月のキーワード：海外学会活動

徒然想

もしも、願いをひとつだけ叶えてくれる魔法のランプがあったなら……。世界平和をお願いしたい。北朝鮮の核実験後、大気中から放射性物質も検出されました。平和に対する不安感は大きくなる一方です。独裁者の動きをモニタリングできるセンサーがあったなら、今、いったいどんな計測データが得られるのでしょうか。世界平和の健全度調査をしたなら、いったいどんな結果が導き出されるのでしょうか。空も大地も、風も雲も、海も山も、恵みの雨も、人の手で焼かれ汚染されることを望んではないのに、その不安は消えることはありません。すべての技術は、人々や地球上に存在する生きとし生けるものが、安心して暮らせるために活かされるべきだと思っています。当社は、いつまでもそんな世界を想像できる技術者集団でありたいものです。

KRC TECHNICAL TOPICS

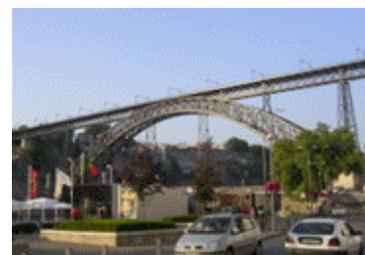
IABMAS 06「橋梁の維持、安全、管理に関する国際会議」

7月16日から20日にポルトガルのポルトで、IABMAS 06 (International Association for Bridge Maintenance and Safety)「橋梁の維持、安全、管理に関する国際会議」が開催されました。この会議は2年おきに開催され、バルセロナ、大阪に続いて、今回で第3回目になります。

私たちは、橋梁のモニタリングに関して、「The current status of SHMBM engineering」について発表いたしました。38あるテーマの中でモニタリングに関するテーマが8、さらに試験、調査に関するテーマとあわせると14になり、維持管理における現場での情報の取得とその活用に関する研究、開発が盛んに行われていることが窺われました。橋梁の維持管理を行うためにも実際の劣化、損傷状態を客観的な情報として把握し、それを評価することが、橋梁の長寿命化ひいてはLCC(Life Cycle Cost)の低減に繋がります。モニタリング技術は、今後もセンサー技術、遠隔・非接触で行うセンシング技術、非破壊検査技術などの要素技術がさらに進歩し、ユビキタス社会のインフラと融合すれば維持管理社会を支えるための安価で、安全で、さらにより信頼性の高い情報を提供する技術となると考えます。



IABMAS'06
オープニングセレモニー



会場近くの風景
とドン・ルイス 世橋

-->> [ホームページでも紹介しています](#)
-->> [発表論文はこちらです](#)

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール：krc@krcnet.co.jp

ホームページ：<http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>で承っております。